

ITホールディングス

インテック

TIS

全国各地で開催した シンクライアントセミナーが盛況

インテックは、TISと、7月4日から8月8日にかけて、「シンクライアント見て! 聞いて! 触って! なるほど使える!」と題したセミナーを全国6会場(札幌、東京、富山、名古屋、大阪、福岡)で開催した。実機を使ってシンクライアントを実際に体験できるとあって、全国で144社のお客さまを集め、いずれの会場も満員の盛況で大阪では追加開催を行うほどであった。

8月26日には、これもTISとの共催で「ITHDグループシンクライアントソリューションセミナー」を開催した。インテック、TISそれぞれの強みを活かしたシンクライアントソリューションを紹介し、ITHDグループの幅広いラインナップや、企業規模を問わないあらゆるニーズへの対応をアピールした。

両セミナーとも参加人数もさることながら、受講者から積極的に質問が飛び交ったり、熱心にメモを取る姿が見られたりするなど、シンクライアントへの注目度の高さをうかがわせた。



インテックホールディングス

中尾会長、旭日中綬章を受章

インテックホールディングスの中尾哲雄会長は、平成20年秋の叙勲で旭日中綬章を受章した。旭日章は「国家または公共に対して功労があり、その功績が顕著である人」に授与される。

中尾会長は、長年にわたり情報・通信事業に従事し、社団法人テレコムサービス協会会長、電気通信審議会委員、電気通信サービス向上推進協議会会長、次世代高度ネットワーク推進会議委員などの公職を歴任し、同事業の発展に大きく貢献した。

最近では、プロバイダ責任制限法ガイドライン等検討協議会会長を務め、今年6月には業界を代表する立場で青少年有害サイト対策法成立に係わるなど、情報・通信の健全化や利用者の保護に尽力している。また、ICT業界においてインテックグループを大きく発展させたことが評価された。

11月7日には、総務大臣からの勲章伝達式にて、中尾会長が受章者を代表して謝辞を述べ、引き続き皇居において天皇陛下に拝謁した。



インテック

「快速サーチャーLogRevi」に新製品を追加

インテックは、複数システムのログの統合管理ができる「快速サーチャーLogRevi」に、4,300社、350万クライアントの導入実績を誇るエムオーテックス社のネットワークセキュリティ管理ソフト「LanScope Cat(ランスコープキャット)」の出力するログに対応した専用オプションを新たに開発した。9月より販売を開始している。

インテックは2005年から、システムが出力するログをデータベース化して長期保存・高速検索のできる「快速サーチャーログ検索ソリューション」を販売していて、すでに100社以上が利用している。「LanScope Cat」ユーザ向けには「快速サーチャーログ検索ソリューション for LanScope Cat」を提供していたが、ログの統合管理を希望するユーザの便宜を図るため、「快速サーチャーLogRevi」に専用オプション「LanScope Cat Receiver」を追加した。この専用オプションの特長は「快速サーチャーLogRevi」に簡単にログを取り込める ログを横断的に閲覧・検索できる その他のシステムとのログを統合管理できる などである。使い勝手のよい新製品によって、エムオーテックス社は「LanScope Cat」の、インテックは「快速サーチャーLogRevi」のそれぞれの拡販に期待している。

お問い合わせ先:
インテック ビジネスプロダクトソリューション事業部 TEL:(03)5665-5140

インテック

紀陽銀行向けのF³(エフキューブ)開発 販売で紀陽情報システムと協業

インテックと紀陽情報システムは、インテックの金融機関向け営業支援システム(以下「F³営業支援システム」)の販売で10月より協業をはじめた。

紀陽銀行では、8月より「F³営業支援システム」を全店で本番運用している。また、導入と同時に融資稟議支援システムを更改して、両システムのデータ連携を実現させた。

融資稟議支援システムは日本ユニシスのパッケージで、この連携により「F³営業支援システム」から融資期日日時などを参照したり、稟議書を作る際に「F³営業支援システム」から案件情報を引き継いだりできるようになった。

これを受けてインテックと紀陽情報システムは「F³営業支援システム」の販売で協業することにしたもので、中堅・中小金融機関向けにそれぞれの営業支援分野のノウハウを相乗的に生かしたソリューションを提案し、多様なニーズに応えていく。

お問い合わせ先:インテック 金融ソリューション事業推進部 TEL:(045)451-2424

インテックシステム研究所

大気中のアスベスト検出のための 試薬と自動計測システムを開発

インテックシステム研究所は、広島大学発のバイオベンチャー企業の「シリコンバイオ」とともに、同社が持っているシリコン結合タンパク質の技術を応用したアスベストの検出試薬と自動計測システムを開発した。

アスベストは、長い間大量に吸い込むことで肺線維症(じん肺)、悪性中皮腫の原因になると言われていて、肺ガンを起こす可能性も指摘されている。これまで空気中のアスベストを測るには大気を一定時間フィルターを通して集め、位相差顕微鏡を使って人の目で確認していた。しかも、この計測は、解体現場では行うことができず、検査にかかる時間、精度、費用などが大きな課題となっていた。

今回、両社が開発した検出試薬と自動計測システムは、この課題を解決する画期的な方法にあたる。シリコンバイオ社が開発したアスベスト検出試薬を使うことにより、蛍光色素を付けたアスベスト結合タンパク質をアスベスト繊維に直接結合させることで短時間に計測できるようにした。また、インテックシステム研究所の画像処理技術によって、アスベスト繊維の一本一本を高精度に識別し、様々な計測のやり方で人の目に頼らない自動計測を実現した。両社は試薬や自動計測システムを様々な大気サンプルで検証して商品化する方針。

お問い合わせ先:インテックシステム研究所 バイオ事業部 TEL:(03)5665-5011



インテック

ID管理製品「結人(ゆいと)」、「東人(そくと)」の アクセス管理機能を強化

インテックは、自社のID管理ソリューション「結人(ゆいと)」、「東人(そくと)」にRSAセキュリティ社のワンタイム・パスワード製品を組み合わせた、新しいセキュリティソリューションの提供を9月より開始した。

今回、RSAセキュリティのワンタイム・パスワード製品「RSA SecurID」を連携し、本人認証機能を追加した。パスワードは60秒間に1回自動更新され、その間のみ有効のため、不正行為や犯罪への高い防止効果がある。これにより「結人」、「東人」のネットワーク接続のセキュリティが強化される。

「結人」は9月から発売を始めており、「東人」は12月より発売の予定である。

結人・東人について



異なるシステム間の同期



同期+ID情報のライフサイクル管理

を可能とする。企業や官公庁では、IT統制への対応で、各システムのユーザID情報やアクセス権などをより厳重に管理する必要があり、その課題を解決する。

お問い合わせ先:インテック N&O事業推進部
TEL:(045)451-2398

フラッシュニュース

インテック

アジア最大の医薬品製造機器・技術の商談展「インターフェックスジャパン」に東洋エンジニアリングとの共催で、「MCFrame/Pharma」関連ソリューションを出展
(7月2日～4日)

インテック

エグゼクティブセミナー開催
(8月28日～30日)

中央システム

福岡開発センターを開設
(9月1日)

インテック・ネットコア

荒野社長(IPv6普及・高度化推進協議会常務理事)、「IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース」の発足に参加
(9月5日)

インテック

マイクロソフトから「SOA and Business Process Solutions Partner of the Year」を受章
(10月8日)

インテック

日本最大の金融フェアFIT2008に「F³(エフキューブ)」出展
(10月8日～9日)

インテック

第20回全国生涯学習フェスティバルの開催にあたり多大な貢献をしたとして文部科学省より感謝状
(10月11日)

インテック武漢

上海事務所を「飛洲国際広場」に移転
(11月3日)

ITホールディングス

ITホールディングス 第2四半期決算を発表

ITホールディングスの第1期(平成21年3月期)第2四半期連結業績(平成20年4月1日～9月30日)は、11月11日に発表され、売上高1,634億2,600万円、営業利益94億円、経常利益94億7,900万円、四半期純利益44億9,100万円となった。

同社は、今年4月1日インテックホールディングスとTISの経営統合による共同持株会社として設立された。この期間の業績は、厳しい事業環境下で業績が伸び悩む子会社もあったが、主要顧客のIT投資ニーズを的確にとらえた事業展開により、好調に推移した子会社が牽引したことから、グループ全体としては期初計画を上回ることとなった。

(単位:百万円)

通期の連結業績予想については、事業環境は厳しさを増していくと考えているが、引き続き着実な事業展開を推進しており、今年5月15日に発表した業績予想の変更はない。

	第2四半期実績	通期業績予想
売上高	163,426	340,000
営業利益	9,400	22,000
経常利益	9,479	22,000
当期純利益	4,491	11,000

インテックホールディングス

インテック・アイティ・キャピタル

インテック・ネットコア

新会社「クラウド・スコープ・テクノロジーズ」を3社で設立

インテックHDとインテック・アイティ・キャピタル、インテック・ネットコアの3社は7月、3社の共同出資により「株式会社クラウド・スコープ・テクノロジーズ」を設立した。

新会社「クラウド・スコープ・テクノロジーズ」は、インテック・ネットコアが開発・販売してきた次世代のネットワーク監視システム「PATHMANAGER」の移管を受け、インテック・ネットコアは、次世代にコアとなる技術の研究開発に注力する。両社は、事業内容を特化することで、競争力を高め、お客さまの多様なニーズにお応えできるサービスを提供していく。クラウド・スコープ・テクノロジーズは、会社設立の移行期間を経て本格的にPATHMANAGERの営業活動を開始しており、10月末には「MPLS JAPAN 2008」に出展している。



株式会社クラウド・スコープ・テクノロジーズ
代表取締役社長
高岡 利光

本 社 東京都港区南青山2-9-3 青山JPビル1階
代 表 取 締 役 社 長 高岡 利光
取 締 役 関矢 壮範(CTO)
近藤 秀樹(非常勤)
中川 郁夫(非常勤)
永見 健一(非常勤)
監 査 役 村橋 俊勝(非常勤)
資 本 金 136百万円
従 業 員 15名
T E L 03-3403-8321
U R L <http://www.cloud-scope.com>